







# マテリアリティ (重要課題) の取り組みと進捗

当グループでは、中長期的な企業価値の向上の観点から、サステナビリティに対する取り組みを重要な経営課題と認識し、2022年に経営全体のマテリアリティ (重要課題) として、6つのカテゴリ・19の具体的課題を取りまとめました。2023年にはサステナビリティ推進タスクフォースのもと、各カテゴリごとに目標およびKPIを設定しました。今後も、中長期的な企業価値向上を目指して、各取り組みを推進していきます。

カテゴリ	カテゴリリーダー	当グループが取り組むべき重要な社会・環境課題	課題選定理由	主担当	施策	実績			目標	
						(参考)2023年度実績 KPI	2024年度実績 KPI	2024年度の取り組み (実績)	2026年度目標	2030年度目標
 <p>Better For You の食を通じた 健やかな ライフスタイル への貢献</p>	食品事業 本部長	安全・安心な食の提供	安全・安心な食を提供することは、食品メーカーとして最も重要な責務の一つであると考えています。	品質保証部長	第三者認証の取得推進・維持 (FSSC22000、JFS、AIB など) ※亀田製菓グループ	亀田製菓グループ 会社取得率 100%	亀田製菓グループ 会社取得率 100%	当社およびグループ会社の第三者認証維持支援 ・当社および子会社の FSSC22000の規格移行に伴う支援	亀田製菓グループ 会社取得率 100%維持	亀田製菓グループ 会社取得率 100%維持
		「喜び・潤い」「健康」「おいしさ」「感動」を与える食の提供	食を通じ生活に「喜び・潤い」を届けたいという想いは当グループの創業の心であり、「健康」「おいしさ」「感動」を与える食の提供は、当グループの存在意義「Better For You」につながると考えています。	マーケティング戦略本部長	ミライベिका (新価値・新製法によるイノベーション※1) の商品ラインアップ拡充 ※亀田製菓	単体米菓・スナックに対する構成比 2.3%	単体米菓・スナックに対する構成比 2.2% ミライベिका上市商品数※1 25SKU ・春夏シーズン 0SKU ・秋冬シーズン 2SKU	・新価値を訴求した米菓のリニューアル ・健康価値を訴求した米菓の発売 お米由来の乳酸菌を配合した機能性表示食品	ミライベिका上市商品数※1 25SKU以上 ・春夏シーズン 15SKU以上 ・秋冬シーズン 15SKU以上	ミライベिका上市商品数※1 25SKU以上 ・春夏シーズン 15SKU以上 ・秋冬シーズン 15SKU以上
		お米をベースとした食文化の発展	お米を事業の起点とする当グループにとって、米業に限らず、お米をベースとした食文化の発展に貢献することでプレゼンスの向上および企業価値の創出につながると考えています。	食品事業本部長	販売商品の塩分相当量の削減 ※亀田製菓	2021年度比 4.9%削減	2021年度比 5.6%削減	・減塩商品拡充への取り組み ・食塩相当量の低い商品の拡充 ・食塩相当量の低い新商品の発売 ・リニューアル商品の減塩化 ・厚生労働省「健康的で持続可能な食環境戦略イニシアチブ」への取り組み	2021年度比 7%削減	2021年度比 15%削減
		食にまつわる多様な価値観への対応	アレルギー・宗教・世界中の多様な食文化などへの対応により、当グループが目指す食のバリエーション化を実現することができると考えています。	食品事業本部長	食品事業の海外売上高比率の拡大	海外売上高比率 1.0%	海外売上高比率 1.6%	・植物性乳酸菌の海外売上拡大 ・長期保存食の海外拡充 ・プラントベースフードの取扱拡大に向けた取り組み	海外売上高比率 3%※2	海外売上高比率 15%※2
 <p>環境に配慮した もののづくり</p>	生産 本部長	事業活動による環境負荷低減	事業活動により発生する地球環境への負荷をできる限り抑制し、脱炭素・循環型社会の構築に貢献することは企業として優先的に取り組むべき重要課題と認識しています。	生産本部長	温室効果ガス総排出量 (Scope1・2) の削減 ※亀田製菓・アジカル	2017年度比 30.3%削減	2017年度比 38.3%削減	・経済産業省資源エネルギー庁「事業者クラス分け評価制度」(2024年度提出分)で最高ランクの優良事業者 (Sクラス) 取得 ・品種切替に伴うエネルギーロスの削減 ・各工場の省エネルギー活動の継続 ・研究開発機グローバル・ライズイノベーションセンターの屋根に太陽光発電システム設置・稼働 ・監督職、担当者を対象とした社内研修による、省エネルギー教育の実施 ・省エネルギー部品への入れ替え ・エネルギー見える化推進	2017年度比 20%削減	2017年度比 40%削減
		環境資源の保全	持続的に事業活動を行うためには、水などの環境資源を効率的に利用し、大気汚染を防止するための保全活動が必要不可欠であると考えています。	生産本部長	水使用量の削減 ※亀田製菓・国内連結子会社	2017年度比 7.7%削減	2017年度比 9.4%削減	・清掃を伴う製造ラインの品種切替回数の削減継続 ・節水部品の随時入れ替え ・生産現場での節水活動継続 ・老朽化に伴う埋設配管の補修	2017年度比 6%削減	2017年度比 10%削減
		フードロスの削減	食を扱う企業として、自然の恵みや生産者への感謝を忘れず、サプライチェーン上における原材料および食品の廃棄を極力減らすことが事業・環境の両面から極めて重要であると認識しています。	米菓スナック開発部長	賞味期限延長への取り組み ※亀田製菓	重点ブランドの 3SKU の賞味期限延長	重点ブランドの 4SKU の賞味期限延長	・既存商品の「年月」表示化と合わせた賞味期限延長計画 ・2025年1月製造日より一部米菓商品の賞味期限表示を「年月日」から「年月」表示に変更。あわせて賞味期限も延長。 ・品質保証部との安全性確認への取り組み	賞味期限延長 商品拡大	賞味期限延長 商品拡大
		脱プラスチック社会への適応	消費財を扱うメーカーとして、プラスチック使用量の削減は優先的に取り組むべき重要課題と認識しています。	米菓スナック開発部長 マーケティング戦略本部長	プラスチック使用量の削減 ECOパッケージ化推進など ※亀田製菓・国内連結子会社	2017年度比 7.8%増加	2017年度比 13.0%削減	・値上げによる販売個数減少により全体的なプラスチック使用量削減 ・既存商品の包材使用量削減 ・米菓商品トレイ資材の薄肉化 ・ノットロー化の実施 ・サイズ変更によるプラスチック使用量の削減 ・個包装に頼らない商品開発 ・個包装しない商品設計	2017年度比 15%削減	2017年度比 30%削減
 <p>持続可能な 調達活動</p>	購買部長	調達先の人権尊重	当グループの事業活動に関わるすべての人の人権を尊重することは、必ず果たすべき社会的責任であると考えています。	購買部長	RSPO認証パーム油比率 ※亀田製菓※3	13.5%	13.4%	・RSPO 認証パーム油使用増加計画も、2024年度の原材料高騰に伴うコスト増抑制のため、亀田単体では、RSPO 認証パーム油使用量 13.4%に	30%	100%
		安定調達の強化・実現	地政学リスクの顕在化や気候変動などにより調達リスクが高まる中、リスクを抑制しお客様に安全・安心な商品をお届けすることがメーカーとしての使命であると認識しています。	購買部長	主要原材料の分散調達シナリオの策定 ※亀田製菓	調達先・代替品検証	調達先・代替品検証	・購買部による調達先候補視察検証実施 ・リスク管理委員会による分散調達品および代替品による商品化検証を実施	調達先・代替品の確定と生産検証	調達先・代替品の確定・実行
		将来的な食糧不足への対応	気候変動や人口動態の変化などによる農作物の収量の変化およびプロテインライシスへの対応は、持続的に事業活動を行ううえで必要不可欠であると考えています。	食品事業本部長	タンパク質クライシスへの対応、プラントベースフードの拡大	プラントベースフード 売上高 0.8億円	プラントベースフード 売上高 0.7億円	・プラントベースフードのOEM受託 ・植物性原料 100%のサラダチキンのリニューアル商品発売 ・プラントベースフードのドライタイプ新商品の発売	プラントベース フード売上高 4億円※4	プラントベース フード売上高 18億円
 <p>人的資本経営</p>	人事総務 本部長	従業員の心と体の健康経営	従業員が心身ともに健康であることで、従業員一人ひとりのポテンシャルが最大限に引き出され、当グループの中長期的な企業価値向上につながると考えています。	人事総務本部長	セルフケア・ラインケアの充実 内部通報・相談窓口設置 安全で快適な職場 ※亀田製菓	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期健康診断 100.0%</li> <li>内部通報、相談窓口の社内周知・浸透</li> <li>労働安全衛生・安全衛生委員会による職場巡視活動 ・強度率 0.15</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期健康診断 100.0%</li> <li>内部通報、相談窓口の社内周知・浸透</li> <li>労働安全衛生・安全衛生委員会による職場巡視活動 ・強度率 0.12</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期健康診断予約一元管理システムの活用により、受診率 100%継続。</li> <li>ストレスチェック集団分析の実施(年1回)</li> <li>健康経営の推進 ・健康経営優良法人の取得 ・健康施策の立案、計画、実行の推進</li> <li>内部通報・相談窓口設置の周知・浸透によるメンタルヘルスへの取り組み強化</li> <li>従業員のエンゲージメント調査実施と対応</li> <li>安全衛生委員会による職場巡視活動と安全表彰の実施</li> <li>長時間労働の是正活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期健康診断 100.0%</li> <li>内部通報、相談窓口の社内周知・浸透</li> <li>労働安全衛生・安全衛生委員会による職場巡視活動 ・強度率 0.05※5</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期健康診断 100.0%</li> <li>内部通報、相談窓口の社内周知・浸透</li> <li>労働安全衛生・安全衛生委員会による職場巡視活動 ・強度率 0.05※5</li> </ul>
		ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン	さまざまな価値観や考え、多様な個性を認め合い、公正に評価することが従業員一人ひとりの能力発揮を実現し、強固かつ競争力のある組織になると考えています。	人事総務本部長	女性管理職・監督職比率 ※亀田製菓	女性管理職比率 13.8%	女性管理職比率 13.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>異業種女性交流研修派遣</li> <li>新潟企業異業種交流研修派遣</li> <li>食品メーカー女性合同研修派遣</li> <li>ロールモデル交流会実施</li> <li>ナナメンター制度の導入</li> <li>※キャリア形成上の課題解決や悩み解消の支援を行い、さらなるキャリアアップにつなげていくことを目的に執行役員10人と選抜女性管理職とのメンター制度導入</li> </ul>	女性管理職比率 20%	女性管理職比率 30%
		事業基盤を支える人材の育成	事業基盤を強固なものとするため、当グループとして求める人材を育成する仕組み・制度は必要不可欠であり、その整備は重要な経営課題であると認識しています。	人事総務本部長	人材育成投資の推進 ※亀田製菓	2021年度比 52.2%増加	2021年度比 135.1%増加 (2.4倍)	<ul style="list-style-type: none"> <li>eラーニング教育の継続</li> <li>技術学校の継続</li> <li>技術学校短期コース継続 ・改善スクール ・保全スクール</li> <li>技術者の英語教育 ・初級プログラム ・中級プログラム ・海外派遣プログラム</li> <li>自己啓発・教育支援制度</li> <li>人材ポートフォリオに合わせた育成計画推進</li> </ul>	2021年度比 2.4倍以上※6	2021年度比 2.4倍以上※6
 <p>亀田製菓らしい ガバナンス</p>	経営企画 部長	コーポレートガバナンスの強化	企業経営のあるべき姿(事業の持続的発展と企業価値の向上を目指すこと)の実現のため、実効的なコーポレートガバナンス体制の構築・強化が必要不可欠であると考えています。	経営企画部長	取締役会の適正な運用を通じた企業価値の向上 第三者機関による定期的な評価を継続 ※亀田製菓	第三者機関による評価実施と評価結果の課題対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者機関により評価実施と評価結果の課題対応</li> <li>執行体制と役員報酬設計の見直し着手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者機関により実効性評価を2024年12月に実施</li> <li>評価結果への実効性向上に向けた改善施策を検討・実施</li> <li>執行体制と役員報酬設計について、外部専門機関を交えて検討開始</li> </ul>	第三者機関による評価と課題抽出、改善活動ローリング	第三者機関による評価と課題抽出、改善活動ローリング
		リスクマネジメントの徹底	経営の安定化を図るため、経営に重大な影響を及ぼす可能性があるリスクを抽出し、優先度を決め対策を講じることが必要であると認識しています。	経営企画部長	リスクマップによる見える化と対策の実施 ※亀田製菓・連結子会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>リスクマップ更新 ・リスク管理委員会 4回実施</li> <li>危機管理セミナー 2回実施</li> <li>危機管理対策本部の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リスクマップ更新 ・リスク管理委員会 4回実施</li> <li>危機管理セミナー 2回実施</li> <li>危機管理対策本部の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リスク管理委員会による当グループのリスクマップの見直し</li> <li>自然災害に備えた従業員の安否確認システムの見直しと年4回のテスト実施</li> <li>原材料調達リスク対応プロジェクトの推進</li> <li>食の安全・品質に関するリスク対応</li> </ul>	リスクマップによる見える化と社内規程・マニュアルにもとづいた対応・見直しの継続	リスクマップによる見える化と社内規程・マニュアルにもとづいた対応・見直しの継続
		情報セキュリティの体制強化		経営企画部長	情報セキュリティの体制強化 ※亀田製菓・連結子会社	業務に重大なインシデントの発生 0件	業務に重大なインシデントの発生 0件	<ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティ対策 ・インシデント発生時の初期対応や拡大防止に関するセキュリティ研修受講</li> <li>情報漏洩防止のためのシステム対応とルール周知</li> <li>インフラ強化 ・国内ネットワーク網改善 ・海外グループ会社のインフラ環境支援</li> </ul>	業務に重大なインシデントの発生 0件	業務に重大なインシデントの発生 0件
 <p>地域社会との 調和</p>	経営企画 部長	地域雇用の拡大	新潟発の企業として、またグローバルに展開する企業として、地域とともに相互に発展することで信頼感が強まり、好循環が生み出されると考えています。	海外事業部長	海外拠点の人員拡大 ※海外連結子会社	1,498名 米国：119名 アジア：1,379名	1,504名 米国：122名 アジア：1,382名	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国、ベトナム拠点の内販事業強化による雇用拡大</li> <li>タイ、カンボジアの生産対策実施</li> </ul>	2,000名	2,500名
		地域農業との連携	地域の農業関係者と緊密な連携を図ることで、同産業の発展に貢献するとともに、サプライチェーン・マネジメントや調達リスク低減につながると考えています。	食品事業本部長	新潟県産米 100%の米粉パン商品販売拡充	新潟県産米使用量 223トン	新潟県産米使用量 286トン	<ul style="list-style-type: none"> <li>米粉パン製造子会社のブランド認知拡大</li> <li>既存商品ユーザーのリピート率向上対応</li> </ul>	新潟県産米使用量 450トン※7	新潟県産米使用量 950トン※7
		「楽しい」「おいしい」「健康」食育の提案	食文化の形成や将来の購買層へのアプローチとともに、当グループへの理解が深まることで親近感が醸成されるなど、さまざまな面で当グループの企業価値向上に寄与するものと考えています。	経営企画部長	食を通じたコミュニケーションの推進 出前授業、地域の小学生の工場見学 ※亀田製菓・連結子会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>食育 (出前授業実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食育 (出前授業実施)</li> <li>社会科学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育園や小学校、学童クラブを対象にものづくり授業や食育の出前授業を実施</li> <li>近隣小学校の校外学習や学生、外国人研修生向けの工場見学</li> </ul>	食育の継続	食育の継続

※1.ミライベिकाの定義とKPI・目標を変更 中長期成長戦略Updateに合わせ、ミライベिकाの定義を「新価値・新製法によるイノベーション」に変更し、KPIと目標値を売上比率から上市商品数に変更  
 ※2.目標変更 中長期成長戦略Updateに合わせ、目標値修正  
 ※3.対象範囲の変更 連結子会社の変動に伴い、当社は亀田製菓単体に対象範囲を変更 ※4.目標値の変更 2024年度実績等を踏まえ、2026年度目標値下方修正 ※5.目標追加 強度率の目標値を追加  
 ※6.目標値の変更 目標値を増加 ※7.目標変更 米粉パンの売上見直しと原材料事情による数量調整等